

8. 平成 17 年度 研修見学会

研修見学会を振り返って

企画委員長

堀内 達雄

2005 年の合同委員会の企画部会で、研修見学会は7月 29 日（金）に行われること、行先は最近の話題や交通事情を加味して、成田 → 銚子で昼食 → 波崎、鹿島方面というコースが決まりました。委員各自で見学スポットを拾い出し、調査結果を持ち寄った結果、見学コースとしては成田市リサイクルプラザ → 銚子魚市場ウォッセ 21 → 波崎ウィンドファーム → 霞ヶ浦麻生西浜の水生植物回復事業現場という具体的な計画ができました。最終的な下見で、意外に移動時間を要すること、渋滞などの心配は少ないことなどを確認した上で、多少時間的に苦しいところは成り行きで判断するという事で、資料を用意して当日を迎えました。

当日は月末であるため参加できない方も居られるのではないかと、という懸念があったのですが、蓋を開けると 20 名（13 社）の方のご参加を頂きました。天候にも恵まれたこともあって、田舎の空気を気持ちよく満喫する 1 日を過ごすことができました。いつもながら、バス会社との間でスケジュールを詰めていただいた永田さん（㈱環境管理センター）の手際に感心し、また、感謝する次第です。

今回の研修では、ごみを扱う現場を実際に見ることで自身の生活とその延長上にある社会が抱える大問題を身近なものとして考える端緒としてもらえればということで、成田市リサイクルプラザといずみ清掃工場を見学することが中心でした。この設備は典型的な地方自治体のごみ処理設備で、比較的長い歴史があり、人口 3 万人余の時代から 10 万人に届こうという現在まで、増加するごみの圧力に耐えながら市民生活の終末処理を行ってきたそうです。





最近では設備の老朽化、設計処理量オーバーなどの問題から新焼却炉の建設が必要とされる状況で、無限に増えていくとさえ思われるごみを処理するのに新たに 70 億円以上の投資が必要になっているそうです。不経済な連鎖を断ち切り、健全な地球環境を保つためにごみゼロに近づける社会システムを急いで造る必要があると切に思った次第です。



見学を受け入れてくださいました松本課長さんはじめ現場案内をしてくださった皆さんにお礼を申し上げたいと思います。

懇親の昼食は銚子市ウォッセ 21 のシーフードレストランです。台風 7 号の直撃後だったので海鮮ものの入荷を心配しましたが、大きな金目鯛の姿煮が付いたテーブルは賑やかで、魚好きの私には感激でした。嗜好の異なる若い人達にはどんな印象であったかが気になりながらも会話ははずみました。



長めの休息を取った後の午後は、鹿島灘沿いを北上するバスのドライブです。波崎の2つの風力発電所を見学してエコ発電がこれから重視されること、神栖町を通過する際には最近になって地下水の有機ヒ素汚染があったことを説明しました。潮来町の道の駅に到着するころには16時を過ぎ、相談の結果、麻生西浜には行かないで帰路をとることにしました。車中で生態系の回復を図る市民運動【アサザプロジェクト】の説明をさせて頂き、快適な高速道路を一路千葉を目指して見覚えのある千葉駅前に滑りこみました。



無事に今年度の会を終了できたことに対して、参加して下さいました方々、お手伝いを頂いた方々に主催者側を代表いたしまして感謝致します。また、至らなかったところ、こうしたらと言ったご意見をお寄せいただき、来年度の会をより良いものにできたら、これに過ぎた喜びはありません。よろしくお願ひ致します。

平成17年度 研修見学会参加者名簿

	会 員 名	参 加 者
1	イカリ消毒(株)	太鼓地 洋昭
		柳田 和則
2	(株)環境管理センター	吉本 優
		永田 耕一
3	キッコーマン(株)	堀内 達雄
		大貫 直子
		濱野 哲夫
4	(株)コスモス 千葉支店	斉藤 憲昭
		相場 久美子
5	習和産業(株)	津上 昌平
6	(株)新日化環境エンジニアリング	吉田 毅
		飯塚 良一
		菅沼 玲希
7	(株)住化分析センター	菅沼 一也
8	住友大坂セメント(株)	坂井 小百合
9	(株)ダイワ	菅谷 光夫
10	中外テクノス(株)	藤谷 光男
11	東電環境エンジニアリング(株)	川西 国和
12	(株)東海地質	初瀬川 ひろ美
13	(株)ユーベック	田中 裕美